

令和6年度（2024年度）

## 公益財団法人びわ湖芸術文化財団事業計画

### I 事業方針

滋賀県域全体の文化振興施策を総合的に推進する「公益財団法人びわ湖芸術文化財団」の2024年度は、滋賀県から受託する第4期指定管理の4年目となる。

滋賀県文化振興基本方針（第3次）の基本目標である「文化芸術の力で心豊かな活力ある滋賀を創る」を実現するため、2021年3月に改訂した財団の「中期経営計画」に基づき、県立文化ホール2館体制のもと、びわ湖ホールを本県の舞台芸術の中心的な施設として、優れた舞台芸術を国内外に発信するとともに、地域に根ざした文化芸術活動を支援する文化産業交流会館と地域創造部が有機的に連携し、市町ホール等と協働しながら、県民の皆様誰もが文化芸術を身近に触れられる多彩な事業を展開する。

2023年5月には、3年余り続いた新型コロナ禍も感染症法での位置づけが季節性インフルエンザと同じ分類に移行して一つの区切りを迎え、6月からは公演での合唱やロビーコンサートも復活させることができたが、改めて多くの方々に感動をお届けするため、引き続き来場者をはじめ出演者やスタッフの安全安心を基本として公演を行うこととする。

今後滋賀で開催される「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」や「日本万国博覧会（大阪・関西万博）」など大きなイベントを見据え、コロナ禍前の活気を取り戻すべく積極的な自主事業の企画・運営を行う。

なお、円安、インバウンドの増加による内需拡大も視野に入れ、必要な対策を講じるとともに、より一層の収入確保や経費節減に努めることにより、劇場運営の維持継続、経営の健全化を図っていく。

さらに、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の改正に対応すべく、共生社会の実現を目指し、障害のある方への合理的な配慮が提供できるよう施設管理・事業展開に努める。

これらの取組を着実に展開し、中期経営計画および指定管理業務提案書に定める目標を達成できるよう取り組む。

#### 1. 法人本部

法人本部では、法人全体の総務・経理事務を行うとともに、県内の文化ホール、文化活動者・文化団体、福祉団体、学校、企業や地域等とのネットワークを充実し、協働連携のもと、県民の皆様が身近に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、創作活動の発表や鑑賞の場、文化情報の提供等を通じて、誰もが文化芸術に親しめる環境を整備するほか、誰もが自分らしく文化芸術に親しみ、人と人がつながる滋賀を目指した取組として、県や市町の文化ホール等が実施するモデル事業等を支援し、障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくりを進めていく。また、地域で活動する若手アーティストやコーディネーターの育成・支援事業、滋賀の魅力を発信する事業等を展

開し、文化芸術の力で心豊かな活力ある滋賀の実現を目指すとともに、これらの事業への取組をアピールし、企業、団体や個人から財団運営に対する支援にも結びつけていく。

## 2. 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

びわ湖ホールではこれまでの実績を踏まえ、**2024**年度も我が国の舞台芸術の水準の向上に貢献し、「トップレベルの劇場を目指す」という視点と、誰もが気軽に訪れることができる「親しみやすい劇場を目指す」という双方の視点に立ち、皆様に「ここに劇場があって良かった」と思っただけけるよう、バランス良く自主事業を展開する。

びわ湖ホールの「創造活動の核」として設置している声楽アンサンブルを中心とした自主事業の制作をはじめ、歌劇、音楽、演劇、伝統芸能等の多彩なジャンルの公演を行うほか、人材育成やアウトリーチなど舞台芸術の普及に資する活動、地域の賑わいの創出につながる取組など、幅広い方々から親しみを持ってもらえる事業を展開する。

さらに、**2025**年日本万国博覧会（大阪・関西万博）や滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の前年となることから、これらを視野に更なるびわ湖ホールの発展が遂げられるよう、関係機関等とも連携し事業を進める。

また、積極的な事業展開を行い、公益財団法人のメリットを最大限PRすることにより、寄付や企業協賛・オフィシャルスポンサー等、自主財源確保に努める。地域の団体・企業との連携強化や、次代を担う青少年が質の高い舞台芸術を体験し、びわ湖ホールをより身近に感じてもらう取組を進めるなど、県民の皆様のニーズに沿った効果的な広報を行い、繰り返し来場いただけるよう促す。

なお、**2024**年度においては、改修工事により大・中ホールで4か月間（7月1日～10月31日）、小ホールで1か月間（8月1日～8月31日）が利用休止となるため、自主事業の日程を改修期間外で調整するほか、メインロビーでの公演、アウトリーチ事業や依頼公演への対応など、新たな客層の開拓を図る。

また、大・中・小ホールの機能を生かした貸館利用の促進、近隣にある事業所等の利用者も視野に入れた駐車場利用の拡大を進めるとともに、省エネ化、施設・設備管理の効率化、アクセシビリティの向上を図り、人にやさしく持続可能な施設管理に努める。

## 3. 滋賀県立文化産業交流会館

滋賀県北部の芸術文化活動の拠点として文化産業交流会館は、湖北地域の豊かな自然や歴史、文化のもとで、引き続き多様な分野との連携に努め、施設の機能を活かした魅力ある舞台芸術を幅広い世代の方に提供する。

湖北地域に息づく伝統文化や産業などの地域資源を活かして、古典芸能を次世代に継承する取り組みを系統立てて行い、県内外に発信していく。特に**2024**年度からは、滋賀県が取り組む「北の近江振興プロジェクト」の一環として、地域の特性を活かした「北にきゃんせ音楽会」を開催し、「北の近江」の魅力を邦楽の音色とともに発信する。また、湖北地域の民話を題材にした「邦楽ミュージカル」に取り組み、子どもや青少年の創造力を育むとともに、地域への愛着や誇りを醸成する。

**2021**年度に連携・協力協定を交わした大阪音楽大学とは、教授や卒業生を講師や出演

者に招き、次世代を育成する邦楽事業の内容の充実を図る。また、2023年度に連携・協力協定を交わした「シエナ・ウインド・オーケストラ」とは、吹奏楽の初心者向けクリニックと演奏会を行い、文化の裾野を広げ、県北部の音楽文化の普及・振興に努める。

イベントホールでは、多目的な機能を活かして、芝居小屋「長栄座」での「夏のフェスティバル」、ベビーカーや車椅子のままでも入場できる「0歳児からのコンサート」、マーチングバンドの祭典「フィールドアート」など、独自性を発揮した公演を行う。

小劇場では、滋賀県ゆかりの第一線で活躍するアーティストのリサイタルや新進アーティストを育成するコンサート、子どもから大人まで楽しめるパフォーマンス公演、そして、「びわ湖の春 音楽祭」を盛り上げる米原公演として、びわ湖ホール声楽アンサンブルの演奏を楽しんでいただく。

さらに、関係機関と連携しながら産業分野をはじめ多様な方と芸術文化を通じた情報交換会や伝統産業展を行う。また、公益財団法人平和堂財団から若手演奏家を育成する事業を引き続き受託し制作する。

会館経営においては、国、公益法人、民間等の補助金、協賛金や文化基金の獲得とともに、新幹線米原駅から徒歩7分に立地する利便性の高い多目的施設であることをさらに周知し、自主事業の集客を図るとともに、イベントホールでの様々な貸館利用を促進し、施設の稼働率と収入の向上に努める。

また、施設運営においても、どなたでも気軽に足を運んでいただける雰囲気づくりや環境の整備に努め、常に社会や地域に開かれた芸術文化活動の拠点を目指す。

## II 事業計画の概要

### 1. 法人本部

#### (1) 自主事業

県内文化ホールとの文化芸術事業等の情報共有や事業企画等のスキルアップを図り、協働連携しながら、誰もが身近に文化芸術に触れられる機会を提供するとともに、地域で活動するアーティストや地域と文化芸術活動をつなぐ人材を育成・発掘する事業を展開する。

##### ア. 地域連携

県内の文化ホールをはじめ、文化活動者・文化団体と協働連携し、県域でのネットワークの構築や、文化ホールが地域の文化活動拠点として活性化することを目的に「アートコラボレーション事業」に取り組む。具体的には、市町ホールから地域資源の再評価と継承を目指した事業、文化的・創造的なつながりを求める方たちにアプローチし多様な参加者と企画を創る事業等を募集するほか、滋賀をテーマに新作狂言の創作に取り組んで15年目を迎える「おうみ狂言図鑑」を市町ホール等との協働により制作・上演する。

##### イ. 文化団体等との協働

文化団体等と協働して地域のアート活動を支え、地域の活性化を目指す「アート活動支援事業」を実施する。

また、滋賀県と共催で「障害者の文化芸術活動を支える拠点づくり事業」を実施する。

##### ウ. 公演制作

文化・経済フォーラム滋賀と共催で文化芸術の可能性を地域に取り入れるアートプロジェクト「びわ湖・アーティスト・みんぐる」を実施する。

##### エ. 人材育成

若手表現者の企画プロデュース支援やトークイベントを通して地域資源の開拓と多様な鑑賞スタイルを提案する「アートと地域のためのプロジェクト」を実施する。

##### オ. 情報発信

季刊誌『湖国と文化』を編集・発行し、本県の歴史、風土、自然、文化芸術など、滋賀の多彩な魅力を県内外に発信するほか、県内の文化ホール等と協働して、県内全域での広報活動を行う。

#### (2) 受託事業

##### ア. 滋賀県芸術文化祭

滋賀県芸術文化祭実行委員会を組織し事務局運営を担い、県民の皆様の文化芸術創作活動における発表の場として、美術、写真、文芸の3つの公募展を開催し、作品を身近に鑑賞できる機会を提供する。

また、多くの県民の皆様へ滋賀県芸術文化祭にご参加いただくため、オープニングイベントを実施する。

#### イ. 県内文化情報提供事業

##### (ア) 湖国文化情報 『れいかる』 編集・発行

県内各地の文化施設で行われる各種文化活動を紹介する湖国文化情報『れいかる』を編集・発行し、県民の皆様への情報提供を通して、文化活動の一層の活性化を図る。

##### (イ) 総合文化誌 『湖国と文化』 提供

財団が編集・発行した総合文化誌『湖国と文化』を県内外の図書館や教育機関等へ配本し、湖国の文化の魅力を発信する。

### (3) 独自事業

#### 文化・経済フォーラム滋賀

文化団体、芸術家、企業、学術、行政等、多様な分野で活躍する者や団体で組織するフォーラムの事務局運営を担い、各分野を超えた交流や「文化で滋賀を元気に！」する事業を推進し、本県の文化と経済の連携による地域の活性化を目指す。

### (4) 広報営業活動

びわ湖ホールや文化産業交流会館と連携を図りながら、各種事業チラシの配布をはじめ、ホームページによる広報やチケット販売等を行う。また、びわ湖ホールの広報ネットワークも活用しながら、新聞社や放送局への効果的なプレスリリースに努める。

「アートコラボレーション事業」等、県内の文化ホールと協働で展開する事業のチケットについても当財団ホームページ上のチケット販売システムを活用し、販売を促進する。

また、『湖国と文化』を「びわ湖ホール友の会」の会員特典に盛り込むことで、新たな購読者を開拓するなど、びわ湖ホール、文化産業交流会館および地域創造部を一体的にとらえ、それぞれが発行する広報媒体を有効活用し、それぞれの営業機会を相互に利用する効果的な営業活動を行う。

## 2 びわ湖ホール

### (1) 自主事業

#### ア. 令和6年度自主事業

国際的水準の舞台芸術を最高の鑑賞条件で提供するとともに、誰もが舞台芸術の楽しみを味わい、繰り返し来場いただけることを目指す。

びわ湖ホールの「創造活動の核」として設置しているびわ湖ホール声楽アンサンブルを中心とした自主事業の制作をはじめ、歌劇、音楽、演劇、舞踊等の多彩なジャンルにわたって、質が高く特色ある事業を厳選して実施する。

また、春の音楽祭をはじめ、地域の賑わいの創出や経済の活性化に貢献し、幅広い方々から親しみを持ってもらえる事業を展開するとともに、人材育成やアウトリーチ等により、舞台芸術を広く県民の皆様に普及する活動にも取り組む。

さらに、インバウンドの増加を踏まえ、英語字幕を掲出するオペラ公演を設けるなど、外国人の来場促進への取り組みも進める。

#### (ア) オペラ等

日本最高水準の力を結集して上演する「プロデュースオペラ」や、国内の劇場と連携する「共同制作オペラ」、青少年や初心者に向けた入門的役割も果たす「オペラへの招待」シリーズ等で優れた作品を上演する。

- ・ 阪芸術監督の「プロデュースオペラ」第2弾は、コルンゴルト作曲 歌劇『死の都』を上演する。2013年度に日本初の舞台上演となった栗山昌良演出のプロダクションの再演として、演出家の岩田達宗や、国内を代表するキャストを迎え、華々しくお届けする。
- ・ 「共同制作オペラ」および「オペラへの招待」シリーズの一つとして、iichiko 総合文化センター、札幌コンサートホール Kitara、やまぎん県民ホールと連携し、誰もが知る日本最古の物語をオペラの題材とした前芸術監督（現桂冠芸術監督）沼尻竜典作曲の名作オペラ『竹取物語』を、芸術監督 阪 哲朗の指揮のもと、日本を代表する歌手とびわ湖ホール声楽アンサンブルをソリストに配し、全国4か所で上演する。
- ・ 「オペラへの招待」シリーズでは、2012年にびわ湖ホール、2013年に新国立劇場で上演して好評を博した栗山昌良演出のクルト・ヴァイル作曲『三文オペラ』を上演し、お求めやすい入場料と本格的な公演レベルの両立で、老若男女を問わず新たなファン開拓に努める。

#### (イ) オーケストラ

- ・ 1年を締めくくる特別な日を最高の音楽に包まれて過ごすコンサートとして定着している「ジルヴェスター・コンサート 2024」を開催する。(2020年度より昼間開催)
- ・ 沼尻竜典と京都市交響楽団による、マーラーシリーズ(vol. 5)を引き続き開催する。
- ・ 「名曲コンサート」では、誰もが知る有名な交響曲や協奏曲を日本センチュリー交響楽団の演奏でお楽しみいただく。
- ・ 青少年・初心者向けのコンサートとして定評のある関西フィルハーモニー管弦楽団

による「子どものための管弦楽教室」を開催する。

#### (ウ) 室内楽・声楽等

- ・「特別コンサート」では、超越したハーモニーで人々を魅了する英国の声楽アンサンブル「タリススコラズ」が、結成 50 周年記念ツアーとして 11 年ぶりにびわ湖ホールに登場する。
- ・サイトウ・キネン・オーケストラの金管、ティンパニ&打楽器セクションのプレイヤーで結成されたブラス・アンサンブルがびわ湖ホールに初登場する。
- ・室内楽ファンの裾野を広げる「室内楽への招待」では、大ホールでの特別コンサートとして、現在最高峰と評価されるベルチャ弦楽四重奏団とエベーヌ弦楽四重奏団の共演で弦楽八重奏の名曲をお届けする。また、小ホールにて、ダネル弦楽四重奏団とヘンシェル・クアルテットの海外実力派弦楽カルテット、守山市民ホールと連携して現在最も注目される若手弦楽四重奏団 クアルテット・インテグラを紹介する。また、レクチャーコンサートやマスタークラスなどの関連企画を実施するほか、2023 年に引き続き、共催事業として「品川カルテット」の公演を行う。
- ・上質な音楽を小ホールという親密な空間でお楽しみいただく「びわ湖の午後」シリーズでは、上野通明（チェロ）、アンドレアス・シュタイアー（チェンバロ）によるリサイタルを開催する。
- ・2022 年「20 世紀のピアノ作品」で佐治敬三賞を受賞した北村朋幹による 20 世紀のピアノ作品シリーズ第 2 弾をお届けする。
- ・「明るい歌声で皆さんを元気に」をモットーにするびわ湖ホール四大テノールによる公演を 2 日間お届けする。
- ・「気軽にクラシック」は、チケット価格を 1,100 円、公演時間も 1 時間程度と短く設定し、より気軽にお楽しみいただけるシリーズとして、2 公演実施する。
- ・多彩なジャンル・楽器の演奏を楽しんでいただく「大人の楽しみ方」、古楽を楽しんでいただく「古楽への招待」などのシリーズ公演に加え、シェーンベルク生誕 150 年にちなんだプログラムでお贈りするイリーナ・メジューエワ ピアノ・リサイタルやフランス出身のギタリスト ティボー・ガルシアによるギター・リサイタルなど、年間を通じて幅広いニーズに合わせた多彩な公演を行う。

#### (エ) 声楽アンサンブル

- ・様々なジャンルの声楽曲に取り組む定期公演では、10 月にオペラや合唱指揮者として活躍する佐藤正浩を指揮に迎えるとともに、東京公演も行う。また、3 月には、滋賀県がオーストリア・ブルゲンラント州と友好交流の推進に取り組むことから、その機会を生かし同州ゆかりの指揮者を招聘する。
- ・幅広い世代に広く親しんでいただけるよう、2020 年に開始したびわ湖ホール声楽アンサンブルによる、童謡や唱歌、昭和・平成の名曲で綴る「美しい日本の歌」コンサートを引き続き実施する (vol. 5)。
- ・故・若杉 弘初代芸術監督より寄贈されたピアノ「ピノ」とソロ登録メンバーで様々な声楽曲を紹介する「ピノシリーズ」では、2023 年度に続きピアノ・お話を河原忠

之が務める。

(オ) バレエ・ダンス

- ・日本で唯一の劇場専属ダンスカンパニー「Noism Company Niigata」による公演を、13年ぶりにNoism創立20周年記念イヤーとして制作されるNoism芸術総監督の金森 穰による最新作と、彩の国さいたま芸術劇場芸術監督の近藤良平による最新作、レパートリー作品も合わせた3本立てで上演する。

(カ) 演劇・伝統芸能

- ・普通の人々の生活を通してコミカルに描く劇作家・演出家の永井 愛率いる二兎社により、2012年度に上演し、好評を得た「こんばんは、父さん」を再演する。
- ・伝統芸能では、毎年好評の野村万作・野村萬斎狂言公演を実施する。

(キ) フェスティバル等

- ・芸術監督 阪 哲朗がプロデュースする「びわ湖の春 音楽祭」を4月末に開催する。5年ぶりに中ホール公演やメインロビーでの無料コンサートを復活し、音楽祭を盛り上げる。また、関係団体・事業者による関連企画や県内各地で4～5月に行われる音楽祭公演等を通じて音楽祭全体を盛り上げ、地域の活性化にもつなげる。

(ク) 普及事業

- ・県や県教育委員会と連携し、次代を担う青少年が舞台芸術に触れる機会を創出するため、「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」（「ホールの子」事業）を6日間計12公演開催する。また、「ホールの子」事業を広く一般にも知っていただけるよう、同じプログラムによる一般向け有料公演を、引き続き実施する。
- ・地域の劇場、県内市町教育委員会や県教育委員会と連携して県内ホール、小学校を会場として、オペラ『泣いた赤おに』を上演する。また、独立行政法人日本芸術文化振興会の委託を受け、びわ湖ホール声楽アンサンブルが実演団体として、引き続き全国の小学校・中学校等において巡回公演を行う。
- ・一般公募により選ばれた出演者によるコンサート「アンサンブルの楽しみ」を継続して開催する。
- ・2023年度に3年半ぶりに再開した入場料無料のロビーコンサートを2024年度も実施し、ホールの賑わい創出を図る。
- ・公演に関連したワークショップ、セミナー・講座などを開催し、舞台芸術の普及・振興に努める。
- ・より優れた音楽的才能（ピアニスト）を発掘し、活躍支援を図るため、県内外から広く参加を求めるとともに、特に優秀な者にはびわ湖ホール自主公演での演奏機会を提供するなど、阪芸術監督の監修のもと「ピアノコンクール」を実施する。
- ・劇場を訪れにくい方にも舞台芸術に触れられる機会を提供するため、医療・福祉施設における「ホスピタルコンサート」などを実施する。
- ・改修期間中の賑わいづくりのため、メインロビーを活用したパフォーマンスイベント

ト「中秋の名月 メインロビー舞台芸術の夕べ」を開催する。

#### イ. 次年度以降自主事業準備

2025年度に開催する自主事業公演の事前準備を実施するとともに、2026年度以降の自主事業実施に向けて、公演調査や事前交渉を行う。

#### ウ. 専属声楽アンサンブル運営

びわ湖ホール創造活動の核として設置している「びわ湖ホール声楽アンサンブル」については、定期公演をはじめ、「オペラへの招待」シリーズなどの自主制作オペラ公演、「美しい日本の歌」公演などの自主公演に出演する。

滋賀県がオーストリア・ブルゲンラント州と友好交流の推進に取り組む機会を生かし、同州ゆかりの指揮者を招聘して、第80回定期公演を行う。公演に向けた稽古等を通じて、国際的な視点に立った声楽アンサンブルの育成につなげる。

また、小学校へ出向いての「学校巡回公演」や「ふれあい音楽教室」、県内各地域の文化ホールや教育機関と連携して実施する「県内巡回オペラ」、県内の児童等を対象にしたオーケストラ公演「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」などの普及事業にもその中心となって活動を展開し、子どもたちをはじめ、県民の皆様が舞台芸術に触れる機会を創出する。さらに依頼公演についても積極的に取り組むなど、県内外で幅広い活動を展開する。

70名を超えたソロ登録メンバーも含め、今後もメンバーの育成、舞台芸術の普及・振興と、県内外で幅広い活動を展開していく。

#### エ. ネットワークの形成

県の公立文化施設協議会の会長館として、県内公立文化施設のネットワーク形成と職員の能力向上のため、引き続き館長会議やびわ湖舞台芸術スタッフセミナーとしてアートマネジメント研修等を実施する。これまでも障害者に目を向けたテーマによる研修を実施しているが、2024年度から障害のある方への合理的配慮の提供が義務化されることから加盟館への周知および関連する事業計画の実施に努める。

#### (2) 広報マーケティング活動等

情報発信とチケットの販売促進を図るため、Webサイト・SNS・メールマガジン等インターネットを使用した幅広いPR活動のほか、多様なパブリシティ活動、情報誌の発行、新聞・雑誌・電波・交通等による広告を行う。また、びわ湖ホール友の会の入会促進やより魅力的な特典のある会員区分への誘引、舞台芸術基金の周知に努め、幅広く寄付を呼びかけるとともに、併せて文化産業交流会館や地域創造部の事業に対しても公演スポンサーを募るなど、協賛支援の確保やコンベンション等の貸館利用についての営業活動を展開する。劇場サポーター、シアターメイツをはじめ、地域のつながりや地元企業の協力を得て、チラシや情報誌の配架に努めるなど、人と人とのネットワークづくりを生かした広報活動を行う。

## ア. 広報営業活動

びわ湖ホール声楽アンサンブルの活動、自主事業、普及事業等に関する情報が記事やニュースで取り上げられるようマスコミ等へ効果的な情報提供を行うとともに、リレーションを構築する。

ホームページの充実を図り、メールマガジン、SNS等による公演情報等の発信、舞台芸術情報誌「湖響」（年4回）、公演チケット情報誌「Stage」（毎月）を発行する。

また、想定される購買層やチケットの販売状況を勘案し、顧客の動向に即した広告宣伝(新聞・雑誌・ウェブサイト・電波・SNS・交通広告等)を行う。

さらに、オフィシャルスポンサー制度をはじめとする企業団体等の協賛制度の周知・利用を積極的に進め、びわ湖ホールのファンを増やし、チケット販売、友の会会員、寄付者等の増加につなげるために、地域の企業、経済団体、関係施設・団体等との交流を深めるとともに、各会員との良好な関係継続に努める。友の会の特別会員・サポート会員については、そのメリットを積極的にPRし、個人・企業を問わず広く加入を勧める。

地域創造部や文化産業交流会館を一体的にとらえ、会員招待対象の公演を幅広く設定するなど、顧客らがメリット感を得やすいよう工夫する。また、広報媒体や営業の機会を相互に有効活用するなど、財団としてのメリットを最大限生かした営業活動を行う。

## イ. チケット販売

友の会会員への優先発売や委託販売先ウェブサイトとの連携を行うとともに、組織販売やこれまで蓄積した顧客リスト、アンケート結果の整理・分析を進めることで、チケットの効果的な販売活動につなげ、顧客の拡大に努める。オペラ公演等のネット販売においては、英語によるチケット購入ページの作成を検討し、海外誘客にも取り組む。

さらに、企画商品の開発や旅行会社・ホテル等とのタイアップ企画等を通じた販売にも積極的に取り組み、新たな顧客層の開拓に努める。

また、2022年度末にリニューアルしたチケットシステムについて、さらなる利便性を高められるよう、システムに備わる機能の改善を検討するとともに、ネットワーク等のログ解析を進めることで安定したシステムの稼働の継続に努める。

## ウ. ホームページの運用

ホームページの内容を充実させ、常に最新の情報を提供することにより顧客の利便性やアクセス環境の向上を図る。特に公演ページでは、トピックスやメディアでの紹介記事、出演者からのコメントやYouTube動画を掲載する。また、「びわ湖の春 音楽祭」は、特設ウェブサイトを構築し、音楽祭に興味を持ってもらえるよう、公演内容やコラム等を紹介する。また、SNSを積極的に活用し、身近な情報を頻繁に発信することで、ホールの取組に関心が高まるように働きかけるとともに、ウェブサイトへ誘導し、ホールへの来場およびチケットの購買行動に結びつきやすくなる工夫を

凝らす。また、英語サイトでの公演情報の提供にも尽力する。

さらに、ホームページへのアクセス数や動向を分析することにより、広告の打ち方やデザインのあり方を改善し、訪問者数のアップを目指す。

## エ. 友の会運営

顧客の拡大・定着、チケット販売等の営業活動の促進、購入データの分析を行い、販売促進に努めるとともに、支援者の拡大の手法についての検討を行う。

また、機会をとらえて会員特典を詳しく説明することにより、サポート会員、特別会員への加入率を高め、チケット販売促進に結びつける。

さらに、地域創造部や文化産業交流会館を一体的にとらえて会員特典を設定し、友の会会員の満足度や利便性の向上に努める。

## オ. 人と人とのネットワークづくり

### (ア) 劇場サポーター運営

人のネットワークによる観客創造を目的とした「劇場サポーター」制度については、講座や交流会を実施するなど充実した運営を行い、積極的な公演の鑑賞を勧めることで、舞台芸術の普及を図るとともに、サポーターとホールとの関係強化に努める。

### (イ) シアターメイツ

青少年の舞台芸術への関心を高め、観客層の裾野を広げるため、引き続き「シアターメイツ」会員を募集し、対象公演のチケットの割引販売、稽古見学会等を実施する。

また、シアターメイツ特別顧問キャラクター「にゃんばら先生」を活用したPR活動を行う。

### (ウ) 館内見学ツアー等

びわ湖ホールや舞台芸術への興味、関心を高め、観客創造に資するため、好評の「まるっとステージツアー」を引き続き実施するほか、舞台芸術に関する雑誌、図書、CD、ビデオ等を備えた舞台芸術情報サロンの運営やホールグッズの販売等を行う。

### (エ) 誰もが鑑賞しやすい環境づくり

障害のある方や子育て中の方など様々な事情を抱える方にも来場いただけるよう、車椅子席の設置、ヒアリングループの運用、字幕の掲出、託児サービスの実施など、引き続き誰もが鑑賞しやすい環境づくりに努める。

## カ. びわ湖ホール舞台芸術基金の周知と活用

びわ湖ホール舞台芸術基金の周知に努めるとともに、遺贈を受け入れる体制の構築など寄付拡大に努める。また、寄付を活用した事業展開を図る。

### (3) 施設の提供

大中小の各ホールのほか、リハーサル室、練習室、研修室およびホワイエについても活用促進を図るとともに、多様な属性の方が安心して利用できる環境を整え、幅広いジャンルにわたって多くの方々に利用していただくことにより、主催者にも来場者にも「ここに劇場があってよかった」と思ってもらえるよう、満足度の高い施設運営に努める。

また、自主事業や施設・設備の保守点検等との調整を密にして効率的な受付に努め、貸館可能日の一層の増加を図るほか、周辺施設や文化産業交流会館等の関連施設との連携・協力による大規模な催しや、びわ湖ホール声楽アンサンブルの演奏を組み込んだ利用など、主催者の要望に応じ、使いやすく親しめる貸館業務に取り組む。

なお、2024年度は、舞台の音響設備・照明設備等の改修工事による大・中・小ホールの長期間利用休止、その後は、特定天井の改修を中心とした大規模改修に伴う長期休館が予定されているため、過去の施設利用者等へ広く周知し、理解を得るとともに、改修後の利用再開へつながるよう、丁寧な対応に努める。

### (4) 管理運営

施設の適正な管理を行うことで、日々の安全な運用ができ、長寿命化にも資するよう努めるとともに、びわ湖ホールとしての質の高いサービスの提供を行う。

また、施設が老朽化する中で、利用者ニーズに合わせた効果的な改修ができるように県に要望し、安全・安心な施設管理に努める。

なお、県の長寿命化等推進整備事業として、長期保全計画に基づき改修工事を行う。

#### ア. ホール管理運営

施設の維持管理を適正に行うとともに、公演開催に伴うチケット販売業務、総合案内業務、舞台技術業務およびレセプション業務等について、びわ湖ホールにふさわしい質の高いサービスを提供する。

災害時の緊急対応について、「滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールおよびびわ湖ホール駐車場災害時の緊急対応要領」をホール職員に徹底、防災訓練を実施し、非常時の対応に備える。

また、日常の施設・設備管理で危険箇所が発見された場合は、速やかな改修に努める。

#### イ. 舞台技術運営

##### (ア) 舞台設備および備品管理運営

舞台設備の日常点検および管理を適正に行うとともに、施設利用者の使いやすい環境を提供する。

##### (イ) 技術的専門性の向上

びわ湖ホールの機能を十分に活用し、創造性を発揮した舞台技術が発揮できるよう高度な技術力の確保に努める。また、他の劇場との情報交換や調査研究を通

して、技術的専門性の向上を目指す。

(ウ) 舞台監督、プランナーの活用

自主事業では舞台監督、プランナー、チーフオペレーターなどを職員で担当し、事業費の削減に努める。貸館事業では要望があれば舞台監督、プランナーを担当し、オペレーターの増員はできるだけ職員を配置することで増収に努める。

(エ) 人材育成

2012年に施行された「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の趣旨に沿って、びわ湖ホールでは今から10年前の2014年から大学連携により、次代を担う人材の育成を行っているが、「舞台技術研修」は一旦事業を終了し、2024年度は連携大学と共にメインロビーを活用して、9月に「中秋の名月 メインロビー舞台芸術の夕べ」と題して創造活動を行う。併せて、この取り組みを通じて、学生に教えることで職員自身も学びを深めるなど「職員の質の向上」も目指すこととしている。

また、公共劇場舞台技術者連絡会や全国公立文化施設協議会との連携を深め、専門性の向上に努める。

なお、「舞台用語ハンドブック」(全国公立文化施設協会刊)の用語解説を継続してSNSで発信することで、滋賀県はもとより全国の舞台技術に携わる方をはじめ、学生など、今後舞台人を目指す方への支援を行うこととする。

(オ) 安全管理

「びわ湖ホール劇場技術運営マニュアル」に則り、舞台の安全な管理運営に努める。

(カ) 大規模修繕工事の実施

2024年度に実施する舞台関係の修繕工事の設計・現場管理・運用調整等を行う。

2024年7月1日～10月31日の4ヵ月間

大ホール 主に舞台照明改修：卓・調光盤更新等

中ホール 主に舞台音響改修：卓・アンプ・スピーカー等

小ホール 舞台照明改修：卓・調光器等（8月の1ヵ月間）

ウ. 駐車場管理運営

駐車場の維持管理を適正に行うとともに、ホール来館者をはじめ、近隣事業所の関係者や地域住民など、より多くの方々が利用しやすい運営を行う。

24時間入出庫可能をさらにPRして定期券利用の促進に努めるとともに、管理業務委託会社および県と連携し、駐車場利用の促進と利用者サービスの向上を目的に、最大料金設定等の新しいサービスの導入に向けた検討を進める。

### 3 滋賀県立文化産業交流会館

#### (1) 自主事業

##### ア. 令和6年度自主事業

滋賀県文化振興基本方針を具現化するため、次の7つの目標に向かってびわ湖ホールと連携のもと各種事業に取り組む。

##### (ア) 古典芸能を次世代に

「長栄座」事業は、新たな舞台芸術アドバイザーを迎え、質が高く親しみやすい古典芸能の自主制作公演を行う。併せて古典芸能の理解や興味を深めていただくための講座を実施する。

「夏のフェスティバル」として、芝居小屋「長栄座」をイベントホール内に設営し4日間開催する。幕開けの2日間は自主制作公演「湖北百景 風雅の竹生島」、3日目は今後の活躍が期待される若手演奏家が出演する「津軽三味線による民謡の世界」、最終日には、びわ湖ホール声楽アンサンブルによる「美しい日本の歌」米原公演で、和の文化の魅力を県内外に発信する。

##### (イ) 子ども・青少年の健全な育成のために

子どもたちに古典芸能に興味を持ってもらうための「古典芸能キッズワークショップ（箏・日本舞踊）」を実施する。修了後は、「箏曲ジュニア・アンサンブル」「中高生のための日本舞踊教室」（びわこ文化センター）を設けて、ステップアップを図る。

子どもや青少年が、お互いを認め合いコミュニケーション能力を身につけながら舞台創作活動に参加する「邦楽ミュージカル」を行い、健全な育成と文化芸術への関心を高めてもらう。また、邦楽の若手演奏家を小・中学校へ派遣する「和のじかん」を実施し、古典芸能を身近に感じてもらう機会とする。

さらに、連携・協力協定を締結した日本を代表する吹奏楽団「シエナ・ウインド・オーケストラ」メンバーによる楽器の取り扱いなど初歩から学ぶクリニックと演奏会を開催し、青少年に音楽活動への関心を高めてもらう。

##### (ウ) 新進アーティストの飛躍のために

「邦楽専門実演家養成事業」は、邦楽の実演家としての資質を高め、各地域で演奏活動を行い伝統芸能の魅力を伝えられるよう、内容の充実を図り、より高い水準の邦楽演奏家の輩出を目指す。

「びわ湖ミュージックフォレスト」は、世界に向けて挑戦する滋賀県ゆかりの新進アーティストの育成・支援を目的に実施する。また、さらなる飛躍を期待して、「びわ湖ミュージックフォレスト」に出演した新進アーティストに、プロのコーラスグループと共演する機会を設ける。

さらに、公益財団法人平和堂財団から受託する次世代音楽事業「鳩の音楽会」、「びわ湖ミュージックハーベスト」、「財団設立 35 周年ガラ・コンサート」等は、株式会社しがぎん経済文化センターとの協働により内容の充実を図るとともに、その成果を今後の当館事業に活かしていく。

(エ) 文化芸術による共生社会実現のために

滋賀県障害者文化芸術活動推進計画のもと、イベントホールの特性を活かしながら障害の有無にかかわらず、鑑賞マナーを緩和し、誰もが楽しんでいただける特別編成のオーケストラによる「0歳児からのコンサート」を制作、実施する。また、車椅子席の増設や試験的にヒアリンググループ席を設けるなど、誰もが鑑賞しやすい環境整備に努める。

(オ) 2館の連携による相乗効果

びわ湖ホール声楽アンサンブルが出演する「びわ湖の春 音楽祭 2024 ぶんさん スプリングコンサート」「美しい日本の歌」を開催し、県北部での顧客創出を図り、びわ湖ホールへの関心も高めていただく。また、当館事業をびわ湖ホールで開催するなどの連携も図る。

(カ) 施設の特性を活かした多様な舞台芸術を恒常的に

舞台芸術公演の実施にあたっては、古典芸能、クラシック音楽に加えてポピュラー音楽コンサート等、他の分野も充実させることで多様なニーズに応えられるラインアップとする。

イベントホールでは、可動式椅子の特性や移動式音響反射板を活かし、客席の半面を舞台のアクティビティエリアとして使用するマーチングバンドの祭典「フィールドアート」、子どもや青少年が出演する「邦楽ミュージカル」、吹奏楽のクリニックとアンサンブルコンサートなどを開催する。そのほか、芝居小屋「長栄座」事業や大規模なポピュラー音楽コンサートを開催し、多彩なジャンルの催物をバランスよく計画し、公演を楽しむバリエーションを拡充する。

小劇場では、滋賀県ゆかりの第一線で活躍するアーティストや新進アーティストの室内楽のコンサート、親子で楽しめるパフォーマンス公演を行う。また、文化教室では、子どもから高齢者までを対象に各種講座を開講する。

(キ) 産業分野との連携

公益財団法人滋賀県産業支援プラザと起業家向けのビジネスセミナーや文化・経済フォーラム滋賀と産業分野をはじめ多様な方と芸術文化を通じた地域振興について考える「ビジネス・カフェ in 文化産業交流会館」を開催する。また、公益財団法人滋賀県産業支援プラザと連携し、滋賀・三重・岐阜「モノづくり商談会」を行う。さらに、芝居小屋「長栄座」での「夏のフェスティバル」に併せて、伝統工芸職人の方や県モノづくり振興課、近隣の観光協会等の協力を得て、「近江のあたらしい伝統産業展」を実施する。

(2) 広報

ア. 広報営業活動

情報誌「湖響」(年4回)への記事掲載や中日新聞、京都新聞への寄稿、自治体広報紙、ホームページおよびSNSによる情報発信、福井県、岐阜県エリアを含む新

聞・放送局への資料提供や、事業協力名義等を得てテレビ・ラジオ、雑誌・情報誌等による広報を行う。

また、びわ湖ホール友の会会員特典の招待公演として、当館公演も組み入れるなど、びわ湖ホール、地域創造部を一体的にとらえ、それぞれの営業機会を相互に活用しながら効果的な営業活動を行う。

さらに、近隣の商業施設や自治会等に毎月、事業案内を行うとともに、引き続きダイレクトメールの送付やメールマガジンを配信する。

#### イ. チケット販売

インターネットによるチケット販売をはじめ、団体販売やこれまでに蓄積した顧客リスト等を活用しながら、効果的な販売活動を行い、入場料収入の増加や顧客の拡大に努める。

また、びわ湖ホールチケットセンターでの販売、専用のチラシラックの設置、ダイレクトメールの一括発送、公演時のチラシ挟み込み等を2館で協力しながら、チケットの販売促進に努める。

#### ウ. アートフレンド（Eメール会員）

インターネットによるチケット販売や公演アンケート等でメールでの情報提供を許可いただいた方へ、定期的にチケット販売や公演についてのトピックスを配信する。

#### エ. 施設利用促進

イベントホールの音響設備、小劇場の照明・音響設備、会議室、練習室等の改修・改装、備品を整備したことなどをPRするとともに、親しみやすい会館パンフレットを作成し、新規顧客の開拓やリピーターの確保等、施設の利用促進を図る。

### (3) 施設の提供

多様な方々が利用する公共施設としてバリアフリー・ユニバーサルデザインの視点に立ち、利用者の安全確保を最優先として、人に優しく環境に配慮した効率的な管理運営を行う。また、気軽に足を運んでいただけるようロビー周りの雰囲気づくりにも努める。

なお、開館して37年目を迎え施設が老朽化する中、計画的な改修が行われるよう県に引き続き要望していく。

### (4) 管理運営

効率的な施設運営に努めるとともに、法令に基づいた適正で安全な管理と良質なサービスの提供を行う。また、利用団体や貸館利用者へのアンケートによる満足度調査、ご意見箱の設置、さらに対話により、利用者の意見・要望を把握し、業務改善に努める。

#### ア. 会館管理運営

受付や窓口業務等接遇においては、公平で丁寧な対応に努めるとともに、障害のある方を含め、どなたに対しても合理的配慮を提供できるように努める。

また、舞台技術、施設管理面で経験豊かな人材を配置し、文化施設としての機能はもとより産業展示等にも対応したフレキシブルな管理と技術提供を行う。利用者には、技術的側面から催事の進行を支援し、要望に応じた細やかな舞台技術を提供する。

災害発生時または発生の恐れがある場合には、防災体制をとり、関係機関への情報提供と協力依頼を行い、利用者の安全確保に努める。なお、消防訓練は、年2回実施し、消防設備の取り扱いや通報、避難誘導が的確に実施できるよう職員教育を行う。

#### イ. 人材育成

職員の意識改革と資質の向上を図ることを目的に、びわ湖ホールと連携しながら職場研修、自己啓発研修、職場外研修の3つの視点から職員研修を継続的かつ発展的に実施する。さらに舞台技術研修や、公益法人に関する実務研修、会計研修等に参加し、専門的知識の習得に努める。

# 令和6年（2024年）度自主事業等一覧

（法人本部地域創造部）

## （1）自主事業

### 地域連携

#### ●滋賀県アートコラボレーション事業

7月～2025年2月

県内のホールが、地域の文化拠点としてより役割を担うための企画を募集し、地域に受け継がれる文化的営みを支える事業や、創造的なつながりを求める人々の活動を育む事業を提案者と協働で行う。

#### ① 第13回オーケストラ・ムジカ・チェレステ演奏会

7月28日（日）

提案団体：公益財団法人日野町文化振興事業団  
会場：日野町町民会館わたむきホール虹

#### ② Puppet Festival 2024「オズのまほうつかい」

9月29日（日）

提案団体：公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団  
会場：長浜文化芸術会館

#### ③「まちを元気にする」プロジェクト

まいコレ MAIBARA 2024 OBACHAN'S COLLECTION

～おしゃれも生き方もチャーミングに～

秋頃

提案団体：公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団  
会場：伊吹薬草の里文化センター

#### ④

未定

※内定後、1事業辞退につき、再募集を行う。

#### ●滋賀県アートコラボレーション事業

おうみ狂言図鑑 2025

2025年1月～3月

狂言の協働制作事業。市町ホール等の活性化と県内の文化ホールとのネットワーク構築を目的に、滋賀を題材にした創作狂言や古典作品を上演する。

出演：大蔵流狂言 茂山千五郎家

会場：1月26日（日） 東近江市てんびんの里文化学習センター  
2月16日（日） 甲賀市あいこうか市民ホール  
3月22日（土） 日野町町民会館わたむきホール虹

## 文化団体等との協働

### ●アート活動支援事業

通 年

県内の文化団体等と協働して、地域のアート活動を支え、アートによる地域活性化を目指す。

(支援予定事業)

- ・けいおんストリート Live
- ・ルシオール アート キッズフェスティバル
- ・糸賀一雄記念賞音楽祭
- ・滋賀県次世代文化芸術センターの「連携授業・文化芸術体験プログラム」 ほか

### ●障害者の文化芸術活動を支える拠点づくり事業（共催）

通 年

誰もが文化芸術活動を楽しめる拠点や支援をする人が集える拠点となる「場」を、県内各地域に生み出すことを目的に、滋賀県が実施する本事業を共催し、市町の文化施設等におけるプログラムを企画し実施する。

## 公演制作

### ●びわ湖・アーティスト・みんぐる

“みんぐる” (mingle)とは交じり合うという意味で、地域に出かけ、芸術(アート)を通して知と感性を刺激し合うような出会いや交流を生み出すことを狙いとするアートプロジェクトを実施する。文化・経済フォーラム滋賀との共催事業。

#### ① 音楽と絵画でつづるおうみの民話 vol.1「伊吹山と神の息吹」10月27日(日)

県内各地で語り継がれてきた「民話」。その教育的価値や地域の資源としての魅力を活かしコンサートを開催する。第1弾は、伊吹(湖北)にまつわる民話を元に作曲された新曲を、京都市交響楽団の首席クラスを中心に結成されたアンサンブルによるバロック音楽とともに届ける。

会場：伊吹薬草の里文化センター

#### ② C<sup>3</sup> Current×Creation×Composition vol.2

##### ～現代音楽と未来への〈関〉～ 11月9日(土)

「弦楽四重奏×現代音楽」で近江・滋賀を巡りながら、その風情や土地に根付く伝統の魅力、世界観を音楽で探るシリーズの第2弾。様々な関門を通過した先に開かれる未来への音楽をテーマに、現代音楽のスペシャリストによる弦楽四重奏団が現代音楽と滋賀をつなぐ。

今回は、最も注目される若手作曲家の一人 小出稚子に新曲を委嘱し、滋賀の魅力を色彩豊かに描いていただく。

会場：スティマーザール (守山市)

## 人材育成

### ●アートと地域のためのプロジェクト

次世代の感性やプロデュース力を活かした企画を届ける。

#### ① アートと地域のためのパフォーマンス・プロジェクト 音楽と絵画でつづるおうみの民話 vol.1 プレイベント 「伊吹山と神のささやき」

7月～9月

土地との対話から構想したコンサートや展覧会、ワークショップといった若手アーティストによる企画プロデュースを支援する。

今回は、滋賀の若手作曲家×演奏家×美術家×地元高校生、ジャンルを超えて様々なアーティストたちが「民話」でつながるコンサート、ライブペインティング、ワークショップを開催する。

会場：伊吹薬草の里文化センター

#### ② アートと地域のためのスモールトーク・プロジェクト 2025年1月～3月

県内の劇場・文化ホールを拠点とし、「アート」と「地域」を盛り上げて活動する人々がネットワークを築くことを目的として、県内外における事例紹介とスモールトーク（ちょっとした雑談や世間話）を開催する。

会場：県内各地

## 情報発信

### ●総合文化誌『湖国と文化』の編集・発行 通 年

『湖国と文化』は、昭和52年（1977年）創刊の滋賀の魅力ある文化を発信する季刊誌で、史跡や人物、自然、伝統行事、文化芸術など多彩な話題を満載している。

県内主要書店を中心に、文化施設や観光施設でも販売する。

発行日 季刊（7月1日、10月1日、1月1日、4月1日）

発行部数 1回 3,000冊

### ●自主事業総合PR 通 年

県内の文化ホール等と協働して、指定管理事業の県内全域での広報活動を行う。

## (2) 受託事業

### ●第54回滋賀県芸術文化祭 8月24日（土）～2025年1月31日（金）（予定）

県民の皆様の文化芸術活動を広く紹介し、公演および創作発表を奨励するため、滋賀県芸術文化祭への参加事業を募る。また、県民の皆様の美術、写真、文芸の各分野の創作活動における発表および鑑賞の場として3つの公募展の開催および第54回滋賀県芸術文化祭のオープニングイベントを実施する。

### ① 芸術文化祭参加事業

### ② 主催事業（※会期・会場は予定）

第 63 回滋賀県写真展覧会 開催期間：10 月 8 日(火)～14 日(月・祝)  
会 場：滋賀県立美術館 ギャラリー

第 74 回滋賀県文学祭 開催日：11 月 23 日(土・祝)  
会 場：滋賀県立男女共同参画センター

第 78 回滋賀県美術展覧会

開催期間：【前期/工芸・書】12 月 5 日(木)～10 日(火)  
【後期/平面・立体】12 月 13 日(金)～18 日(水)  
会 場：滋賀県立美術館

### ③ 第 54 回滋賀県芸術文化祭オープニングイベント

開催日：8 月 24 日(土)  
会 場：滋賀県立文化産業交流会館

## ●県内文化情報提供事業

通 年

県内各地の文化施設等で行われる各種の文化情報や滋賀の歴史、風土、自然、文化芸術等の特色ある文化情報を発信する。

### ① 湖国文化情報『れいかる』編集・発行

県内で行われる各分野の文化芸術情報を県民の皆様に届ける。

発行日 年 5 回発行（6 月 1 日、8 月 1 日、10 月 1 日、12 月 1 日、3 月 1 日）  
発行部数 1 回 30,000 部

### ② 総合文化誌『湖国と文化』提供

季刊誌『湖国と文化』を県内外の図書館や教育機関等に配本し、滋賀の文化の魅力を発信する。

発行日 季刊（7 月 1 日、10 月 1 日、1 月 1 日、4 月 1 日）  
配本数 1 回 420 冊

## (3) 独自事業

### ●文化・経済フォーラム滋賀

通 年

「文化で滋賀を元気に！」を合言葉に文化・経済・学術・行政等の各分野の人たちの交流を目的に発足した「文化・経済フォーラム滋賀」の事務局を担い、文化と様々な分野が連携した創造的な活動が広がるよう各種事業を実施する。

事業：文化で滋賀を元気に！賞  
文化ビジネス塾、文化経済サロン  
講演会 ほか

# 令和6年(2024年)度自主事業一覧

(びわ湖ホール)

## 大ホール

### ●プロデュースオペラ (2公演) 2025年3月1日(土)・2日(日) コルンゴルト作曲 歌劇『死の都』(ドイツ語上演・日本語字幕付)

“創造する劇場”として情報発信を目指すびわ湖ホールは、開館以来、日本最高水準の力を結集し、オペラの自主制作を続けており、その活動は全国的に高く評価されてきた。その中心となるプロデュースオペラでは、ヴェルディ日本初演作品シリーズ、共同制作による大規模かつ独創的なプロダクション、2016年度から4年かけて制作・上演し話題となったワーグナーの大作《ニーベルングの指環》四部作(びわ湖リング)、そして2020年度から2022年度まではコロナ禍の影響からセミ・ステージ形式で上演し、ワーグナーの主要10作品のオペラを全て上演してきた。2023年4月に芸術監督に阪哲朗を迎えて贈るプロデュースオペラ第2弾は、コルンゴルト作曲『死の都』。2013年に日本初の舞台上演となった栗山昌良演出の再演として、日本を代表するキャストを迎え、国内外に向けて強く発信する。

指揮：阪哲朗(びわ湖ホール芸術監督)  
演出：栗山昌良 再演演出：岩田達宗  
出演：清水徹太郎\*、山本康寛\*、森谷真理、木下美穂子、黒田祐貴、池内響 ほか  
\*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー  
合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル  
管弦楽：京都市交響楽団

### ●オペラへの招待・共同制作オペラ (2公演) 11月23日(土・祝)・24日(日) 沼尻竜典作曲 歌劇『竹取物語』(日本語上演、日本語・英語字幕付)

iichiko 総合文化センター(大分県立総合文化センター)、札幌コンサートホール Kitara、やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)と連携し、前芸術監督(桂冠芸術監督)沼尻竜典作曲の名作オペラを取り上げる。指揮は現芸術監督の阪哲朗が務め、日本を代表する歌手とびわ湖ホール声楽アンサンブルをソリストに配し、全国4か所で上演する。

指揮：阪哲朗(びわ湖ホール芸術監督)  
原演出：栗山昌良  
演出：中村敬一  
出演：砂川涼子、晴雅彦、迎肇聡\*、森季子\*  
びわ湖ホール声楽アンサンブル ほか  
\*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー  
管弦楽：日本センチュリー交響楽団

大分公演 12月1日(日) iichiko 総合文化センター(大分県立総合文化センター)  
札幌公演 12月7日(土) 札幌コンサートホール Kitara  
山形公演 12月15日(日) やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)

### ●マーラー・シリーズ (1公演) 2025年3月9日(日)

2020年より始まった沼尻竜典×京都市交響楽団によるシリーズ第5弾として上演する。

指揮：沼尻竜典  
ソリスト：重島清香(メゾソプラノ)、宮里直樹(テノール)  
管弦楽：京都市交響楽団  
曲目：マーラー作曲 交響曲「大地の歌」

## ●ジルヴェスター・コンサート 2024 (1公演)

12月31日(火)

1998年の開館以来、新年を素敵な音楽で迎えるカウントダウンコンサートとして、一般参加のファンファーレ隊・合唱団の出演のほか、多数の協賛支援をいただいて行う抽選会など、上質な音楽とエンターテイメント性を併せもったコンサートとして定着してきた。2020年度から交通事情の変化や感染症の影響を踏まえ、大晦日の昼間に開催しており、2024年度も引き続き昼間の時間帯で開催する。

指揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）  
ソリスト：中川優芽花（ピアノ）  
司会：桂 米團治  
管弦楽：大阪交響楽団  
独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル  
合唱：ジルヴェスター合唱団（一般参加）  
ファンファーレ：ジルヴェスター・ファンファーレ隊（一般参加）

## ●子どものための管弦楽教室 (1公演)

2025年3月20日(木・祝)

2008年度より実施してきた好評のシリーズ。子どもたちが楽しみながら学べるだけでなく、大人も一緒にオーケストラについての知識や理解を深められる公演として毎回テーマを設定して実施し、親しまれている。

指揮：藤岡幸夫（関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者）  
管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団

## <名曲コンサート> (大ホール2公演)

クラシック音楽の初心者で何を聴いてよいかわからない方、そしてクラシック・ファンの方まで気軽に、かつ満足して聴いていただける選曲、出演者でお届けするコンサートシリーズ。大ホールでオーケストラ公演と器楽公演を実施する。

## ●日本センチュリー交響楽団 (1公演)

12月8日(日)

「これぞ名曲！」といわれる魅力ある楽曲をオーケストラの生演奏でお楽しみいただき、クラシック音楽ファンの拡大を図る。日本センチュリー交響楽団と共同主催で開催。今回はオペラ指揮者セミナー出身、副指揮としてびわ湖ホール プロデュースオペラにも参加する松川智哉の指揮による「ドイツ3大B」にちなんだプログラムをお届けする。

指揮：松川智哉  
管弦楽：日本センチュリー交響楽団  
曲 目：バッハ作曲 ウェーベルン編曲  
6声のリチェルカーレ（「音楽の捧げもの」BWV1079より）  
ブラームス作曲 ハイドンの主題による変奏曲  
ベートーヴェン作曲 交響曲第6番 へ長調 作品68「田園」

## ●サイトウ・キネン・オーケストラ プラス・アンサンブル (1公演)

2025年2月16日(日)

サイトウ・キネン・オーケストラの金管、ティンパニ&打楽器セクションのプレイヤーで結成され、2015年、セイジ・オザワ松本フェスティバル(OMF)で大絶賛されたプラス・アンサンブルがびわ湖ホールに初めて登場する。

曲 目：ラヴェル作曲 亡き王女のためのパヴァーヌ  
プロコフィエフ作曲 「ロメオとジュリエット」より  
ヤナーチェク作曲 「シンフォニエッタ」からファンファーレ  
ピアソラ作曲 「ブエノスアイレスのマリア」より  
ガーシュウィン作曲 「ポーギーとベス」より ほか

### <声楽>

**●びわ湖ホール声楽アンサンブル「美しい日本の歌」(1公演) 6月15日(土)  
8月4日(日) 文化産業交流会館**

びわ湖ホール声楽アンサンブルが、唱歌や童謡に加え、昭和や平成に親しまれた名曲を  
びわ湖ホール、そして文化産業交流会館の特設舞台「長栄座」で演奏する。  
※文化産業交流会館公演はピアノでの演奏となる。

指 揮：本山秀毅 (びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者)  
編曲・ピアノ：植松さやか  
出 演：びわ湖ホール声楽アンサンブル  
管弦楽：京都フィルハーモニー室内合奏団 (びわ湖ホール公演のみ)

曲目：カチューシャの唄、この道、落葉松、東京ブギウギ、赤いスイートピー  
僕が僕であるために、あの鐘を鳴らすのはあなた ほか

**●特別コンサート「タリス・スコラーズ」(1公演) 6月30日(日)**

1973年、合唱指揮者で音楽学者のピーター・フィリップスによって結成。ルネサンス音  
楽、ミサ曲やモテットなどの宗教合唱曲をレパートリーに持ち、超越したハーモニーで人  
々を魅了する英国の声楽アンサンブルが、びわ湖ホールに2013年以来11年ぶりに登場す  
る。世界最高のアカペラ声楽アンサンブルの結成50周年記念ツアーとなる。

出 演：タリス・スコラーズ (指揮：ピーター・フィリップス)  
曲 目：パレストリーナ作曲 ミサ曲  
アレグリ作曲 ミゼレーレ  
ジョスカン・デ・プレ作曲 自然の摂理に逆らって ほか

### <室内楽への招待>

**●特別コンサート「ベルチャ弦楽四重奏団&エベーン弦楽四重奏団」(1公演)  
2025年3月30日(日)**

現在最高峰の2つの弦楽四重奏団、ベルチャ弦楽四重奏団とエベーン弦楽四重奏団の共  
演で弦楽八重奏の名曲をお贈りする。

出 演：ベルチャ弦楽四重奏団、エベーン弦楽四重奏団  
曲 目：メンデルスゾーン作曲 弦楽八重奏曲 変ホ長調 作品20  
エネスコ作曲 弦楽八重奏曲 ハ長調 作品7

## 中ホール

### <オペラへの招待>

「オペラをこれから見てみたい」という方にぜひオススメの入門編となるオペラであり、びわ湖ホール声楽アンサンブルの歌声がオペラへの扉に誘う。

### ●オペラへの招待 クルト・ヴァイル作曲 『三文オペラ』(4公演)

2025年1月24日(金)～27日(月)

(日本語上演、日本語字幕付)

劇中で歌われる「マック・ザ・ナイフ」が有名なブレヒトとヴァイルが世に放った名作、「三文オペラ」を、2012年にびわ湖ホール、2013年に新国立劇場で上演し絶賛された栗山昌良演出版でお贈りする。

指揮：園田隆一郎  
演出：栗山昌良  
再演演出：奥野浩子  
出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル  
管弦楽：ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

### <演劇>

### ●二兎社公演 48 「こんばんは、父さん」 未定

「今、日本でおきていること」をリアルに体感できる演劇づくりで幅広い層から支持される劇作家・永井 愛が率いる二兎社公演を、2012年に上演し、好評を得た「こんばんは、父さん」でお贈りする。

作・演出：永井 愛  
出演：風間杜夫、萩原聖人、堅山隼太

### <ダンス>

### ●Noism0 / Noism1 金森穰 / 近藤良平 新作公演 (1公演) 2025年2月1日(土)

2004年に日本初の公共劇場専属舞踊団としてりゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館で設立された Noism Company Niigata がびわ湖ホールに13年ぶりに登場。Noism 20周年記念イヤーに新制作される Noism 芸術総監督の金森 穰による Noism0 の最新作と、彩の国さいたま芸術劇場芸術監督の近藤良平による Noism1 の最新作、レパートリー作品も合わせたトリプルビル公演をお贈りする。

### <古典芸能>

### ●野村万作・野村萬齋狂言公演 (1日2公演) 12月7日(土)

文化勲章を受章した野村万作。びわ湖ホールでは開館当初から上演し、毎年大好評を博している狂言公演を、引き続きお贈りする。

出演：野村万作、野村萬齋 ほか  
演目：未定

## 小ホール

### <びわ湖ホール声楽アンサンブル定期公演> (2公演)

びわ湖ホールの創造活動の核として設立されたホール専属の「びわ湖ホール声楽アンサンブル」。定期公演は、オペラアリア、重唱曲、合唱曲、歌曲、宗教曲など、声楽の多様なジャンルでその真価を問うコンサートとなる。

#### ●第79回定期公演

##### 「4人の作曲家たち～フォーレ、ドビュッシー、ラヴェル、プーランク～」

10月12日(土)

オペラや合唱指揮者として活躍する佐藤正浩を指揮に迎え、フランスの声楽曲をお贈りする。

指揮：佐藤正浩

ピアノ：未定

曲目：フォーレ作曲 ラシーヌの雅歌

ドビュッシー作曲 シャルル・ドルレアンの3つの歌

ラヴェル作曲 3つの歌

プーランク作曲 7つの歌より ほか

#### ●第80回定期公演

##### 「笑いと涙」ウィーン・ロマンス～フランツ・シューベルト&ヨハン・シュトラウスⅡ世～

2025年3月22日(土)

滋賀県と友好交流推進に関する協定を締結したオーストリアブルゲンラント州ゆかりのクリスチャン・コッホが弾き振りで定期公演に初登場。

指揮・ピアノ：クリスチャン・コッホ

曲目：シューベルト作曲 ミサ曲第6番 変ホ長調 D.950

「笑いと涙」D.777 作品59-4 ほか

### <びわ湖の午後 65・66>

選りすぐりの演奏家による上質な音楽を、小ホールという親密な空間で聴いていただくシリーズ・コンセプトで、どなたにも贅沢なひとときを過ごしていただけるリサイタルを開催する。

#### ●びわ湖の午後 65 上野通明 無伴奏チェロ (1公演)

9月22日(日)

2021年ジュネーヴ国際音楽コンクール・チェロ部門で日本人初の優勝を果たし、今もつとも勢いのあるチェリストが登場し、類まれなる豊かな音楽性と圧倒的な演奏で観客を魅了する。

出演：上野通明 (チェロ)

曲目：J.S. バッハ作曲 無伴奏チェロ組曲より ほか

#### ●びわ湖の午後 66 アンドレアス・シュタイアー(1公演)

10月20日(日)

今や古楽界の巨匠の域に達するアンドレアス・シュタイアー。常にクリエイティブなプログラミングと表現で、聴衆に新しい発見を呼び醒ます彼が、今回は、バッハにインスパイアされた自らの作曲作品を含めたプログラムをチェンバロで披露する。

出演：アンドレアス・シュタイアー (チェンバロ)

曲目：アンドレアス・シュタイアー作曲  
J.S. バッハの前奏曲とフーガ ホ長調 BW 878 に基づく「アंकレンゲ」  
他、フローベルガー、クーブラン、フックスの作品等より

### <室内楽への招待>

室内楽ファンの裾野を広げていくため、2010年度よりスタートしたシリーズ。多彩な演奏家による室内楽の魅力を紹介している。2024年度は小ホール3公演、特別コンサートとして大ホールで1公演を開催予定。

#### ●ダネル弦楽四重奏団(1公演)

6月16日(日)

ベルギーが誇る実力派カルテット「ダネル弦楽四重奏団」を2022年に続き、札幌コンサートホール Kitara と提携して招聘する。今回は、プロコフィエフとシューベルトを取り上げ、コンサート前日には本人たちによるレクチャーコンサートも開催する。

出演：ダネル弦楽四重奏団  
マルク・ダネル、ジル・ミレ（ヴァイオリン）  
ヴラッド・ボグダナス（ヴィオラ）、ヨヴァン・マルコヴィッチ（チェロ）  
曲目：プロコフィエフ作曲 弦楽四重奏曲第1番 ロ短調 作品50  
シューベルト作曲 弦楽四重奏曲第13番 イ短調 D804「ロザムンデ」  
シューベルト作曲 弦楽四重奏曲第12番 ハ短調 D703「四重奏断章」  
プロコフィエフ作曲 弦楽四重奏曲第2番 ヘ長調 作品92

#### <関連企画 レクチャーコンサート>

翌日のコンサートプログラムにあるプロコフィエフにちなみ、20世紀ロシアの大作作曲家たちと、シューベルトに関する内容をお贈りする。

6月15日(土) 小ホール  
出演：ダネル弦楽四重奏団

#### ●ヘンシェル・クアルテット(1公演)

9月29日(日)

アマデウス弦楽四重奏団、アルバン・ベルク・カルテットなどに薫陶を受けたドイツ「正統派」弦楽四重奏団といえるヘンシェル・クアルテットが、びわ湖ホールに初登場。また、本公演に先立ちヘンシェル・クアルテットによるマスタークラスを予定している。

出演：ヘンシェル・クアルテット  
クリストフ・ヘンシェル、ダニエル・ベル（ヴァイオリン）  
モニカ・ヘンシェル（ヴィオラ）、マティアス・バイヤー＝カルツホイ（チェロ）  
曲目：モーツァルト作曲 弦楽四重奏曲第22番 変ロ長調 K. 589「プロイセン王第2番」  
メンデルスゾーン作曲 弦楽四重奏曲第3番 ニ長調 作品44-1  
ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲第8番 ホ短調 作品59-2  
「ラズモフスキー第2番」

#### <関連企画 マスタークラス>

若手アーティストに向けてヘンシェル・クアルテットによるマスタークラスを開催する。

9月21日(土)  
講師：ヘンシェル・クアルテット

#### ●クアルテット・インテグラ(1公演)

2025年1月4日(土)

2015年桐朋学園に在学中に結成。2021年バルトーク国際コンクール弦楽四重奏部門第1位、2022年ARD ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第2位、併せて聴衆賞を受

賞し、2022年秋よりロサンゼルスのコルバーンスクールにレジデンスアーティストとして在籍する現在最も注目される若手弦楽四重奏団が登場する。

守山市民ホールと連携し、びわ湖ホール、守山市民ホールの2日間のプログラムで、古典から現代まで幅広いレパートリーを演奏する。

出演：クァルテット・インテグラ

曲目：ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲第3番 ヘ長調 作品 18-3

三善晃作曲 弦楽四重奏曲第2番

ブラームス作曲 弦楽四重奏曲第3番 変ロ長調 作品 67

#### <連携企画>

びわ湖ホール公演の翌日、守山市民ホールでもコンサートを開催。

2025年1月5日(日) 守山市民ホール小ホール

曲目：ハイドン作曲 弦楽四重奏曲 ニ短調 作品 76-2 「五度」

バルトーク作曲 弦楽四重奏曲第3番

ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲第9番 ハ長調 作品 59-3

「ラズモフスキー第3番」

#### <古楽への招待>

バロック以前の時代の音楽や古楽器による演奏を行い、「古楽」を楽しんでいただくシリーズ。

#### ●秋のバロック音楽博覧会 (1公演)

11月16日(土)

パリ在住、たかまつ国際古楽祭などもプロデュースする柴田俊幸のフラウト・トラヴェルソと日本の古楽シーンを牽引する中野振一郎のチェンバロで、楽しいトークも交えて古楽の世界へ誘う。

出演：柴田俊幸(フラウト・トラヴェルソ)、中野振一郎(チェンバロ)

曲目：J.S. バッハ作曲 フルートソナタ イ長調 BWV1032

ヘンデル作曲 フルートソナタ ニ長調 HWV378

ジャック＝マルタン・オトテール作曲 組曲第3番 ト長調 ほか

#### <スタインウェイ“ピノ”シリーズ>

びわ湖ホール開館15周年を迎えた2013年に、初代芸術監督(～2006年度)故・若杉弘氏が自宅で愛用していたピアノ(スタインウェイ・ハンブルクモデル1978年製)を寄贈いただいた。本シリーズはそのピアノを活用しお届けする。

#### ●スタインウェイ“ピノ”シリーズ vol.10 (1公演)

10月5日(土)

2023年度までの「日本語とうた」シリーズ全3回が大好評だったことを受け、アンコールとして本年度もピアニスト・河原忠之のプロデュース公演を開催する。

ピアノ・お話：河原忠之

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

清水徹太郎、竹内直紀、山本康寛(テノール)

#### <大人の楽しみ方>

ファッションやライフスタイルにこだわりを持つ方々に、クラシック音楽のみならず様々なジャンルの音楽をお届けし、多様な芸術文化を楽しんでいただくシリーズ。

#### ●大人の楽しみ方 36 ファド (1公演)

10月13日(日)



をお贈りする。

出演：イリーナ・メジューエワ（ピアノ）

曲目：シューベルト作曲 2つのスケルツォ D593

シェーンベルク作曲 6つのピアノ小品 作品 19

シューベルト作曲 ピアノ・ソナタ第 14 番 イ短調 D784

シェーンベルク作曲 3つのピアノ曲 作品 11

ブラームス作曲 6つのピアノ曲 作品 118

**●北村朋幹 20 世紀のピアノ作品 Vol.2 ～1950 年以降のヨーロッパ**

**2025 年 2 月 15 日(土)**

2022 年「20 世紀のピアノ作品」で佐治敬三賞を受賞した北村朋幹による 20 世紀のピアノ作品シリーズ第 2 弾。20 世紀初頭までのピアノ音楽黄金期のあとで、12 音“しか”出せないこの楽器、たった 1 人で演奏するピアノソロというジャンルで、作曲家たちは何を志したのか？1950 年以降の作品を中心にピアニストの視点から紐解く。

出演：北村朋幹（ピアノ）

**< 声楽 >**

**●びわ湖ホール四大テノール**

**7 月 27 日(土)、28 日(日)**

びわ湖ホール四大テノールが小ホールから再出発！「明るい歌声で皆さんを元気に」をモットーに楽しいステージを 2 日間でお贈りする。

出演：びわ湖ホール四大テノール（清水徹太郎、竹内直紀、古屋彰久、山本康寛）  
植松さやか（ピアノ）

## びわ湖の春 音楽祭 2024

阪 哲朗びわ湖ホール芸術監督がプロデュースし、2023 年度から新たにスタートした「びわ湖の春 音楽祭」。

多くの方々が気軽に芸術文化を楽しめるよう、優れた音楽家の演奏を低料金で提供する。2024 年度は、コロナ禍で中止していた中ホール公演やメインロビーにおける無料の公演も復活する。

また、関係団体・事業者による関連企画の実施を図るとともに、県内全域が音楽で盛り上がる期間（4～5月）を設け、県内各ホールと連携を図り、県域で関連の催しを開催し、地域の活性化にもつなげていく。

日 程：4月 27 日(土)・28 日(日)

テーマ：夢と憧れ

公演数：有料公演 16 公演（大・中・小ホール）

（予定）無料公演 9 公演（メインロビー）

出 演：阪 哲朗（指揮／びわ湖ホール芸術監督）、京都市交響楽団（管弦楽）、園田隆一郎（指揮）、石田泰尚（ヴァイオリン）、山中惇史、川崎翔子、岡本知也（ピアノ）、小林沙羅（ソプラノ）、藤木大地（カウンターテナー）、黒田祐貴（バリトン）、遠藤千晶（箏）、レオンコロ弦楽四重奏団、ギター・クンチャナ（ガムラン）、びわ湖ホール声楽アンサンブル ほか

## 普及事業

### ●びわ湖ホール声楽アンサンブル東京公演 vol. 15

10月 14 日(月・祝)

びわ湖ホール声楽アンサンブルの魅力を全国に向けて発信する東京公演。第 79 回定期公演と同プログラムを東京文化会館小ホールで実施する。

指揮：佐藤正浩

### ●びわ湖ホール声楽アンサンブル学校巡回公演（5日間 10公演）

5月 9 日(木)・10 日(金)・13 日(月)・14 日(火)・17 日(金)

県内の小・中学校を訪問し、学校の体育館をコンサート会場に変えて約 1 時間の本格的な音楽公演で歌の魅力を経験していただく。

指揮：本山秀毅（びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者）

大川修司（びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者）

### ●ふれあい音楽教室

実施期間：9月

県内の小学校の授業に声楽アンサンブルのメンバー 2 人とピアニストが参加し、ミニコンサートや歌唱指導を行う。

### ●県内巡回オペラ『泣いた赤おに』

実施期間：9月～10月

浜田廣介の児童文学を原作に、松井和彦が構成・作曲したオペラ『泣いた赤おに』を県内文化施設や学校の体育館で上演する。可能な限り、劇場さながらの本格的な美術、衣裳、照明を用意し、学校にいながら本格的な舞台芸術の魅力を経験していただく。

指揮：大川修司（びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者）  
演出：中村敬一  
出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル  
会場：県内小中学校体育館、文化会館

### ●受託事業 舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）

実施期間：9月～11月予定

独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業として、県外の小中学校にてオペラ『泣いた赤おに』公演を行う。

事前に行うワークショップでは「ふれあい音楽教室」と同内容の授業を行い、びわ湖ホールとびわ湖ホール声楽アンサンブルの活動、歌手という職業、オペラ『泣いた赤おに』について紹介する。

指揮：大川修司（びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者）  
演出：中村敬一  
出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル  
会場：指定された地域の小中学校・特別支援学校体育館

### ●ホスピタルコンサート

病院、福祉施設等を会場に、本県出身の新進演奏家等によるコンサートを開催し、病气療養や高齢など様々な理由で生の音楽に触れる機会の少ない方に心穏やかな時間を過ごしていただく機会を提供する。

協力：一般社団法人滋賀県病院協会、社会福祉法人グロー

### ●びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！（「ホールの子」事業）（6日間 12公演）

5月29日(水)～31日(金)・6月4日(火)～6日(木) 大ホール

県内のすべての子どもが中学3年生までに舞台芸術に触れる機会を創出することを目的に、びわ湖ホール声楽アンサンブルが出演する大規模オーケストラ公演を実施する。共生社会づくりの一環として、特別支援学校、適応指導教室等の児童・生徒も参加いただく。（非公開）

指揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）  
管弦楽：京都市交響楽団  
独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル  
脚本・構成：中村敬一

### ●びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！＜一般公演＞

6月1日(土) 大ホール

滋賀県の児童に向けて実施している「ホールの子」事業を、子どもたちのご家族をはじめ、広く一般の方々にも知っていただけるよう、同プログラムを一般向け公演として有料で実施する。

指揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）  
管弦楽：京都市交響楽団  
独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル  
脚本・構成：中村敬一

## ●阪 哲朗オペラセミナーⅡ～『フィガロの結婚』～

6月25日(火)～29日(土) 大ホール

若杉・長野音楽基金を活用し、国内外で活躍する阪芸術監督が講師を務めるオペラセミナー第2弾。日程を5日間に拡大し、より充実した内容で開催する。

講師：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）  
三ッ石潤司（新国立劇場オペラ研修所専任コレペティトゥア）  
西 聡美（ベルリン国立歌劇場コレペティトゥア）  
受講者：プロの指揮者、コレペティトゥアを目指す若手音楽家  
独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル  
管弦楽：大阪交響楽団

## ●林 康子 声楽曲研修

5月23日(木)～25日(土) 小ホール

若杉・長野音楽基金を活用し、びわ湖ホール声楽アンサンブルのための研修を行う。世界を舞台に活躍したソプラノ歌手 林 康子を迎え、指導の様子を広く一般に公開する。

講師：林 康子  
ピアノ：越知晴子  
受講者：びわ湖ホール声楽アンサンブル

## ●アンサンブルの楽しみ ～演奏家のつどい～vol.16

11月3日(日・祝) 小ホール

一般公募により選ばれた出演者たちによるコンサート。音楽愛好家の皆さんの“憧れの場”であるびわ湖ホール小ホールの舞台に立つていただくことに加え、プロのゲストプレイヤーを迎えて演奏と交流の場を提供する。

## ●びわ湖ホールピアノコンクール

予選 未定

本選 2025年未定 大ホール

これまで、滋賀県在住、在学の児童生徒から一般（30歳未満）までを対象としたピアノコンクールを実施してきたが、より優れた音楽的才能（ピアニスト）を発掘し、活躍支援を図るため、県外からも参加できるようにするとともに、特に優秀な者には、びわ湖ホール自主公演での演奏機会を提供するなど、阪芸術監督が監修するピアノコンクールに見直して実施する。

## ●舞台芸術研修普及事業

コロナ禍で休止していたロビーコンサートを2023年に3年半ぶりに復活したことから、2024年度も引き続いてメインロビーを活用し、「七夕」や「ハロウィン」、「クリスマス」といった季節にちなんだ無料のコンサート、滋賀県ゆかりの若手演奏家によるロビーコンサートを開催する。メインロビーに設置している故・若杉弘初代芸術監督から2013年に寄贈されたピアノ（自宅で愛用されていたピアノ [スタインウェイ ハンブルクモデル 1978年製] 愛称“ピノ”）を引き続き「ロビーコンサート」にも活用していく。

また、声楽アンサンブルによるアウトリーチ活動としての「学校巡回公演」、「ふれあい音楽教室」やオペラ『泣いた赤おに』、自主事業に関連したワークショップ、セミナー・講座、音楽に関心を持ってもらう子ども向け夏休み企画等を開催するなど舞台芸術の普及のための事業を行う。また、劇場そのものを知ってもらうためのバックステージツアー等を企画する。セミナー・講座の一環として、2024年度に上演するオペラ3演目が、2023年6月に逝去された名演出家 栗山昌良氏の演出であることから、同氏と関りの深かった演出家、声楽家とともに、その演出作品の魅力に迫るトークイベント「オペラ演出家 栗山昌良を語る」を実施する。

さらに、様々な事業の機会を捉えて、地域の大学との実践的な連携も積極的に進めていく。

#### **主な事業（予定）**

1. ロビーコンサート
2. アウトリーチ事業
3. 講座・ワークショップ等
  - ①オペラ、演劇等のワークショップ（随時）
  - ②オペラ講座
    - ・オペラ講座『死の都』 2025年1月5日(日)、19日(日) コラボしが21  
講師：東条碩夫
    - ・オペラ演出家 栗山昌良 を語る 11月4日(月・休) 中ホール  
お話：中村敬一（演出家）、福井 敬（声楽家）
  - ③まるっとステージツアー（年2回程度）
  - ④夏休み企画（7. 8月頃開催）
4. 大学との連携事業

#### **●大学連携／人材育成事業**

##### **中秋の名月 メインロビー舞台芸術の夕べ 9月13日(金)、14日(土) メインロビー**

「中秋の名月」が美しい9月の2日間、大・中ホール改修期間中の賑わいづくりの一環として、メインロビーを活用したパフォーマンスイベントを開催する。連携協定を締結している2大学の学生が、舞台装置・衣裳・映像インスタレーション等を主体的に考案・作成し、プロの実演家とアートコラボレーションを行う。

また、舞台技術や作品創りのノウハウを学ぶ事前学習「プランミーティング」等を、舞台芸術を志す若者や一般の方にも公開し、次代を担う人材の育成につなげる。

- ①講座
  - ・プランミーティング（年3回）
- ②パフォーマンスイベント
  - ・声楽（びわ湖ホール声楽アンサンブル）
  - ・パントマイム（いいむろなおきマイムカンパニー）
  - ・ダンス（森下美樹スペシャルダンスチーム）
  - ・朗読

## 共催事業

### ●びわこのこえ フェスティバル vol. 6 6月9日(日) 中ホール

びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーの有志を中心に、声楽家が集うコンサート。

指揮：寺嶋陸也

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー ほか

### ●TAIRIK プロデュース「古澤 巖の品川カルテット」(2公演+フリーコンサート)

6月13日(木) 大ホール

カリスマ的なパフォーマンスで聴衆はもとより、演奏家からも絶大な信頼を集める古澤巖が立ち上げた「品川カルテット」。古澤がその才能に惚れ込んだロベルト・ディ・マリーノ作品と弦楽四重奏の名曲を演奏する。客席数は限定 300 席ほどに設定し、ゆったりと聞けるコンサートを2公演、そしてその前には乳幼児連れの方などを対象としたフリーコンサート(30分間の無料コンサート)を行う。

ヴァイオリン：古澤 巖、福田悠一郎 ヴィオラ：TAIRIK チェロ：高木慶太

曲目：ロベルト・ディ・マリーノ作品 ほか

### ●KEIBUN 第九 2024 演奏会 (1公演)

12月7日(土) 大ホール

指揮：田中祐子

管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団

独唱：調整中

合唱：KEIBUN 第九合唱団

曲目：ベートーヴェン作曲 交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付き」

### ●平和堂財団 35周年記念ガラ・コンサート (1公演)

12月22日(日) 大ホール

指揮：篠崎靖男

管弦楽：Gala2024 スペシャルオーケストラ

# 令和6年(2024年)度 びわ湖ホール自主事業カレンダー

※共催予定事業を含む。

	大ホール	中ホール	小ホール
4月	27(土)・28(日)びわ湖の春 音楽祭2024	27(土)・28(日)びわ湖の春 音楽祭2024	27(土)・28(日)びわ湖の春 音楽祭2024
5月	29(水)～31(金)音楽会へ出かけよう!		23(木)～25(土)林 康子 声楽曲研修
6月	1(土)音楽会へ出かけよう! 一般公演 4(火)～6(木)音楽会へ出かけよう! 13日(木)品川カルテット【共催】 15(土)美しい日本の歌 25(火)～29(土)阪 哲朗オペラセミナーⅡ 30(日)タリス・スコラズ	9(日)びわこのこえ フェスティバル【共催】	2(日)ティボー・ガルシア  16(日)<室内楽への招待> ダネル弦楽四重奏団
7月	大ホール改修中(7/1～10/31)	中ホール改修中(7/1～10/31)	27(土)・28(日)びわ湖ホール四大テノール
8月			小ホール改修中(8/1～8/31)
9月			7(土)イリーナ・メジュエワ  22日(日)びわ湖の午後65 上野通明 29(日)<室内楽への招待> ヘンシェル・クアルテット
10月			5(土)スタインウェイ“ピノ”シリーズ vol.10 12(土)声楽アンサンブル第79回定期 13(日)大人の楽しみ方36 ファド 20(日)びわ湖の午後66 アンドレアス・シュタイアー
11月	23(土)・24(日)オペラへの招待・共同制作オペラ『竹取物語』		3(日)アンサンブルの楽しみ 16(土)古楽への招待 柴田俊幸+中野振一郎
12月	7(土)KEIBUN第九【共催】 8(日)名曲コンサート 日本センチュリー交響楽団 22(日)平和堂財団35周年記念【共催】 31(火)ジルヴェスター・コンサート2024	7(土)野村万作・野村萬斎狂言公演	1(日)気軽にクラシック 八木寿子
1月		24(金)～27(月)オペラへの招待『三文オペラ』	4(土)<室内楽への招待>クアルテット・インテグラ
2月	16(日)名曲コンサート SKOプラス	1(土)Noism	8(土)大人の楽しみ方37 LEO 11(火・祝)気軽にクラシック 松村衣里 15(土)北村朋幹
3月	1(土)・2(日)プロデュースオペラ『死の都』 9(日)マラー・シリーズ 20(木・祝)子どものための管弦楽教室 30(日)<室内楽への招待> ペルチャ&エバーヌ		22(土)声楽アンサンブル第80回定期
調整中		二兎社48	
その他	5月 学校巡回公演(県内小中学校等10公演) 8月4日(日)美しい日本の歌(文化産業交流会館) 9月13日(金)・14日(土)中秋の名月 メインロビー舞台芸術のタベ 10月14日(月・祝)声楽アンサンブル東京公演vol.15 9月～10月 県内巡回オペラ『泣いた赤おに』 9月～11月 予定 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) オペラ『泣いた赤おに』 11月4日(月・祝)「オペラ演出家 栗山昌良を語る」中村敬一・福井 敬(中ホール) ピアノコンクール 予選(未定)、本選(未定) ロビーコンサート その他、各種講座、ふれあい音楽教室(9月)、ホスピタルコンサート など		

# 令和6年（2024年）度自主事業一覧

（文化産業交流会館）

## イベントホール

### ●「シエナ☆セブン」クリニック&コンサート 6月9日（日）

中学校・高等学校の生徒等を対象に、県内の学校や関係団体と連携しながら、シエナ・ウインド・オーケストラメンバーによる吹奏楽の初心者向けクリニックと演奏会を開催する。

### ●滋賀県次世代創造発信事業 芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル2024

7月27日（土）～8月4日（日）

①②長栄座「湖北百景 風雅の竹生島」 7月27日（土）、28日（日）

③ 駒田早代「津軽三味線による民謡の世界Ⅱ」 8月3日（土）

④ びわ湖ホール声楽アンサンブル「美しい日本の歌」米原公演 vol.4 8月4日（日）

イベントホールに特設する芝居小屋「長栄座」において14年目、「夏のフェスティバル」としては4年目の開催。

①② 「湖北百景」として、湖北地域の文化資源を活かした古典芸能公演を3年計画で開催。令和6年度は「竹生島」をテーマに、「竹生島」の舞くらべ、「竹生島」の新作落語を、上方舞の山村友五郎、上方落語家の桂吉坊が演じる。

③ 古典からオリジナル曲、現代曲まで様々なジャンルに挑戦する若手演奏家 駒田早代。「びわ湖ミュージックフォレスト」に3年連続で出演し、多くの観客を魅了している。

④ びわ湖ホール声楽アンサンブルが、日本の唱歌から昭和・平成のヒットソングまで、心に響く美しい歌、思い出のメロディーを「長栄座」の舞台上で演奏する。

### ●フォレスト ぶんさんスペシャルコンサート 11月2日（土）

びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー竹内直紀 所属のコーラスグループ「フォレスト」に、令和5年度「びわ湖ミュージックフォレスト」に出演した彦根市出身の大学生ヴァイオリニスト 谷田翔平を迎え、「スペシャルコンサート」として開催する。

### ●ぶんさん0歳児からのコンサート vol.4 11月23日（土・祝）

ベビーカーに乗ったまま楽しめる「0歳児からのコンサート」。生まれてすぐに舞台芸術を体感できるとともに、子育て中の保護者にとっては日常のストレスから解放された時間を過ごすこともできる全世代向けのコンサート。大阪交響楽団と歌やパフォーマンスの特別編成で届ける。

### ●ユースシアター事業 邦楽ミュージカル「むかしがたり 弐」 12月15日（日） (5月～6月出演者募集)

県内の子どもや青少年を対象に出演者を公募し、邦楽によるミュージカルに挑戦。文化活動を通じた青少年の健全育成を目指すとともに、湖北地域の民話を題材に取り上げ、地域文化資源の発信を図る。

### ●フィールドアート2025 -国スポ・障スポ応援事業- 2025年1月25日（土）、26日（日）

イベントホールの特性を活かしたマーチングバンドの祭典は、県内外の高等学校・大学の吹奏楽部や一般のマーチングバンドなどが出演し、舞台照明で演出されたエンターテイメント性の高い企画として好評。令和7年秋に開催される「国スポ・障スポ滋賀2025」の文化プログラムのスタートとして、若さ溢れる躍動感のあるパフォーマンスで国スポ・障スポを応援する。

### ●ポピュラー音楽コンサート 年2公演予定

湖北地域で鑑賞機会の少ない大規模なコンサートを開催し、アーティストと観客が一体となったライブの醍醐味を楽しんでいただくとともに、当館周辺の経済効果にもつなげる。

## 小劇場

### ●《びわ湖の春 音楽祭 2024》ぶんさんスプリングコンサート 4月20日(土)

「びわ湖の春 音楽祭 2024」の米原公演として、びわ湖ホール声楽アンサンブルによるコンサートを小劇場で開催し、地域の方に気軽にお楽しみいただく。

### ●to R mansion Presents ファミリーショー「はだかの王様」 6月16日(日)

世界各国の演劇祭やストリートフェスティバル、劇場、学校鑑賞会など場所や対象年齢に応じた作品を上演し、国内外で高い評価を得ている「トゥーアールマンション」によるパフォーマンスショー。子どもから大人、外国の方まであらゆる方にお楽しみいただける。

### ●びわ湖ミュージックフォレスト 2024 年4公演

滋賀県にゆかりのある新進アーティストによるコンサート。若いアーティストの育成・支援とともに、県北部地域の顧客を開拓し、リピーターの定着を目指す。

- ① 7月20日(土) Trio Ex ピアノ三重奏
- ② 9月14日(土) マリンバアンサンブル「プリズム」
- ③ 1月13日(月・祝) ピアノジョイントリサイタル
- ④ 3月23日(日) 弦楽四重奏&ホルン

### ●びわ湖ミュージックコネクト 年2公演

びわ湖ミュージックハーベスト、フォレスト、オーチャードに続く新シリーズ。滋賀県ゆかりの一流アーティストのリサイタルを開催する。

- ① 2月22日(土) 玉井菜採リサイタル(ヴァイオリン)
- ② 3月9日(日) 宮本妥子リサイタル(打楽器)

## 普及事業

### 【人材育成】

#### ●滋賀県次世代創造発信事業 アートマネジメント人材養成講座 年4回実施

地域で芸能やアートを企画制作する人材を養成する講座。長栄座「湖北百景」をテーマに、舞台芸術アドバイザーの小林昌廣とゲストを迎えて開講する。

#### ●滋賀県次世代創造発信事業 古典芸能キッズワークショップ 8月～11月(成果発表会 11月10日(日))

小学生を対象に、日本の古典芸能の世界を身近に感じ、その楽しさを次世代に伝える、箏と日本舞踊の稽古と成果発表会を行う。

#### ●滋賀県次世代創造発信事業 箏曲ジュニア・アンサンブル 8月～11月(成果発表会 11月10日(日))

古典芸能キッズワークショップで参加希望の多い箏部門の上級生コースとして、小学校高学年から中学生を対象に高度な技術が習得でき、アンサンブル演奏で日本音楽の魅力を発信できる人材を育成する。

#### ●滋賀県次世代創造発信事業 邦楽専門実演家養成事業 9月～2月(演奏会 2月9日(日))

中堅若手の演奏家を対象に公募し、流派を超えた第一線で活躍の講師の指導のもと、より高い水準の邦楽演奏家の輩出を目指す。

## 【普及啓発】

### ●滋賀県次世代創造発信事業 「和のじかん」 10月～2月

当館事業に関わる邦楽（箏・三弦・尺八等）の若手演奏家を小・中学校に派遣し体験プログラムを実施し、児童・生徒に古典芸能に興味を持ってもらう機会とする。

### ●びわこ文化センター 文化講座 通年

県北部地域の学びの場、交流の場として、約70の文化講座を開講する。会館事業と連携し講座内容の充実を図る。

### ●かがやく☆フェスタ 2024 5月9日（木）～12日（日）

びわこ文化センター受講生が日々培った成果を発表する場として、舞台発表や作品展示を行う。また、各講座の体験コーナーを設け、新規会員の獲得に努める。

## 【産業連携】

### ●ビジネス・カフェ in 文化産業交流会館 年4回程度

公益財団法人滋賀県産業支援プラザと起業家向けのビジネスセミナーを開講するとともに、文化・経済フォーラム滋賀と協働し、産業分野をはじめ多様な方と芸術文化を通じた地域振興について考える。

### ●近江のあたらしい伝統産業展 7月27日（土）、28日（日）

湖北地域をはじめとする県内の伝統的工芸品や特産品等の展示販売を行い、県内外にその魅力を紹介するとともに長栄座「湖北百景 風雅の竹生島」を盛り上げる。

### ●滋賀・三重・岐阜「モノづくり商談会」 12月5日（木）

滋賀県産業支援プラザと協働で、県内外の企業が参加し情報交換の場をつくり、新たなビジネスパートナーの発掘や受注拡大の機会を設け、産業振興を図る。

## 【情報提供】

### ●プレイガイド&アートインフォメーションコーナー 通年

情報紙、書籍等の閲覧、文化情報の提供、催し物チケットの販売のほか、県民の方々や県内文化ホールからの芸術文化に関する企画、舞台技術等の相談業務を行う。また、公益社団法人びわこビジターズビューローの協力を得て、滋賀の観光情報を提供する。

## 受託事業

### ●北の近江振興プロジェクト 北にきゃんせ音楽会

滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」（平成 23 年度（2012 年度）結成）が、県北部地域の各地を訪ね、ミニコンサートや体験ワークショップを、小劇場ではコンサートを開き、地域の魅力を邦楽の音色とともに紹介する。（県受託事業）

- ・ミニコンサート&体験ワークショップ 県北部地域 2 会場
- ・邦楽コンサート 9 月 21 日（土）小劇場

### ●平和堂財団 音楽事業

滋賀県内の次世代を担う若い人たちの健全な成長に、長年にわたって注力されている公益財団法人平和堂財団の音楽部門の事業を当財団が受託し、滋賀にゆかりのある若手演奏家の育成プログラムの制作を担う。

- ・芸術奨励賞受賞者による「鳩の音楽会」 9 月 26 日（木）高槻城公園芸術文化劇場  
9 月 28 日（土）ひこね市文化プラザ  
9 月 29 日（日）栗東芸術文化会館さきら
- ・平和堂財団設立 35 周年記念企画ガラ・コンサート 12 月 22 日（日）びわ湖ホール
- ・音楽部門芸術奨励賞選考会 2025 年 1 月 5 日（日）栗東芸術文化会館さきら
- ・室内楽セミナー&公演「びわ湖ミュージックハーベスト」2025 年 3 月 26 日（水）～29 日（土）

## 令和6年度(2024年度)文産会館自主事業カレンダー

	イベントホール	小劇場	ホール外
4月		・20日(土)びわ湖の春 音楽祭 ぶんさんスプリングコンサート	
5月	・9日(木)～12日(日)かがやく☆フェスタ2024		
6月	・9日(日)シエナ☆セブン クリニック&コンサート	・16日(日)toRmansion「はだかの王様」	
7月	・27日(土)・28日(日)長栄座「湖北百景 風雅の竹生島」 " 伝統産業展	・20日(土)ミュージックフォレストFile1 ピアノ三重奏	
8月	芝居小屋「夏のフェスティバル 長栄座」	・3日(土)津軽三味線による民謡の世界 II ・4日(日)美しい日本の歌	
9月	・21日(土)北の近江振興プロジェクト 北にきやんせ音楽会	・14日(土)ミュージックフォレストFile2 マリンバアンサンブル	・鳩の音楽会 26日(木) 高槻城公園芸術劇場 28日(土) ひこね市文化プラザ 29日(日) 栗東芸術文化会館
10月			
11月	・2日(土)フォレスタぶんさんスペシャルコンサート ・23日(土・祝)ぶんさん0歳児からのコンサート	・10日(日)古典芸能キッズワークショップ& 箏曲ジュニア・アンサンブル成果発表会	
12月	・5日(木)モノづくり商談会 ・15日(日)ユースシアター 邦楽ミュージカル		・平和堂財団 ガラコンサート 22日(日) びわ湖ホール
2025年1月	・25日(土)、26日(日)フィールドアート2025	・13日(月・祝)ミュージックフォレストFile3ピアノ	・5日(日)音楽部門奨励賞選考会 栗東芸術文化会館
2月		・9日(日)邦楽専門実演家養成事業演奏会 ・22日(土)ミュージックコネクトVol1玉井菜採	
3月		・9日(日)ミュージックコネクトVol2宮本妥子 ・23日(日)ミュージックフォレストFile4弦楽四重奏&ホルン ・26日(水)～29日(土)びわ湖ミュージックハーベスト 室内楽セミナー	

(開催月日未定)

- ・ポピュラー音楽コンサート(イベントホール) 年2回
- その他 ・アートマネジメント人材養成講座(会議室等) 年4回
- ・ビジネスカフェ(会議室等)[共催] 年4回程度

(通年)

- ・びわこ文化センター文化講座
- ・プレイガイド&アートインフォメーションコーナー